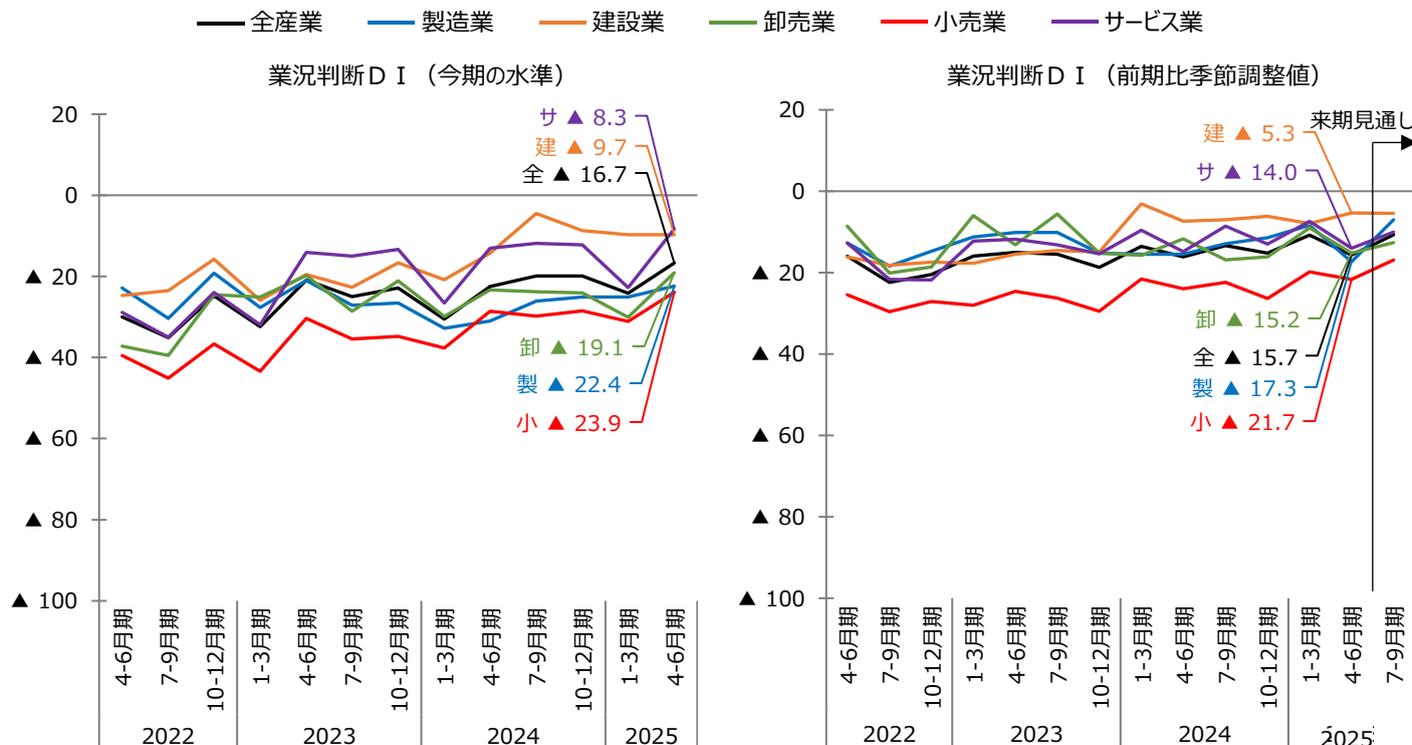


# 第180回 中小企業景況調査（2025年4-6月期） 中部



## 1. 業況感

中部地域の中小企業の業況判断DI（今期の水準）は、全産業で前期（2025年1-3月期）より7.5ポイント増の▲16.7と3期ぶりに上昇した。産業別にみると、サービス業、卸売業、小売業、製造業で上昇し、建設業で横ばいとなった。

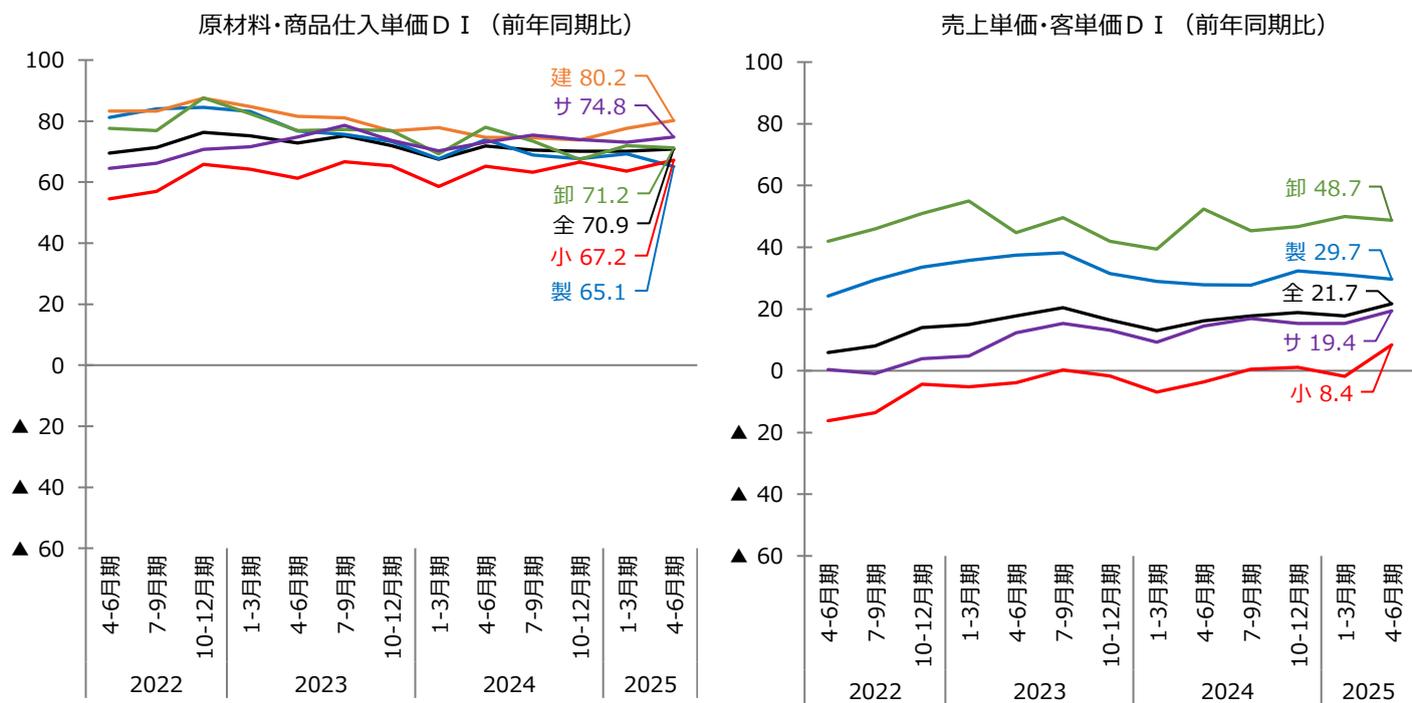


※今期の業況について「良い」「ふつう」「悪い」で質問

※前期（2025年1-3月期）と比べて「好転」「不変」「悪化」で質問

## 2. 仕入単価・販売単価

原材料・商品仕入単価DIは、全産業で前期より0.8ポイント増の70.9と4期ぶりに上昇した。産業別にみると、小売業、建設業、サービス業で上昇し、製造業、卸売業で低下した。また、売上単価・客単価DIは、全産業で前期より3.9ポイント増の21.7と2期ぶりに上昇した。産業別にみると、小売業、サービス業で上昇し、製造業、卸売業で低下した。



※前年同期（2024年4-6月期）と比べて「上昇」「不変」「低下」で質問

※前年同期（2024年4-6月期）と比べて「上昇」「不変」「低下」で質問

＜調査概要＞ 調査時点は2025年6月1日、調査対象は中小企業基本法に定義する全国の中小企業

今期の調査対象企業数：18,841 有効回答企業数：17,899 有効回答率：95.0% うち、中部：2,271企業

※本資料の集計対象の都道府県は、富山県、石川県、岐阜県、愛知県、三重県です。

# 第180回 中小企業景況調査（2025年4-6月期） 中部

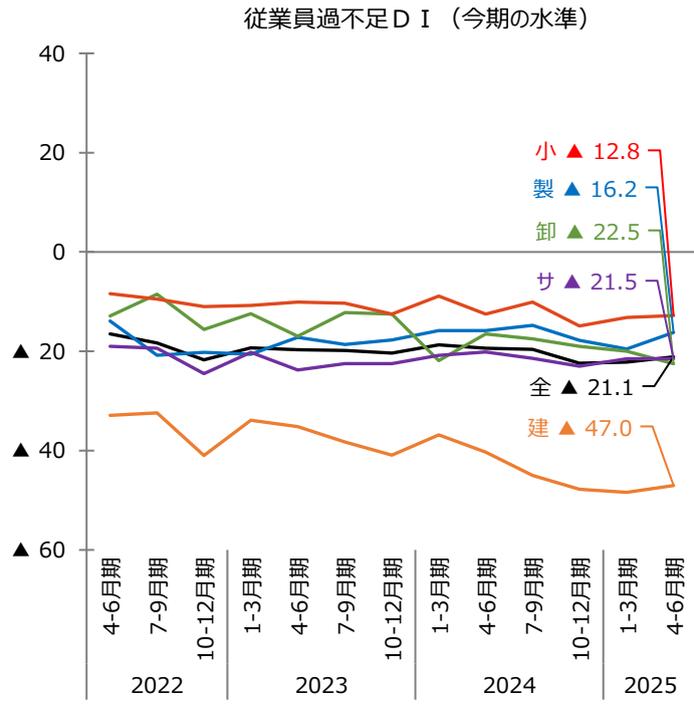
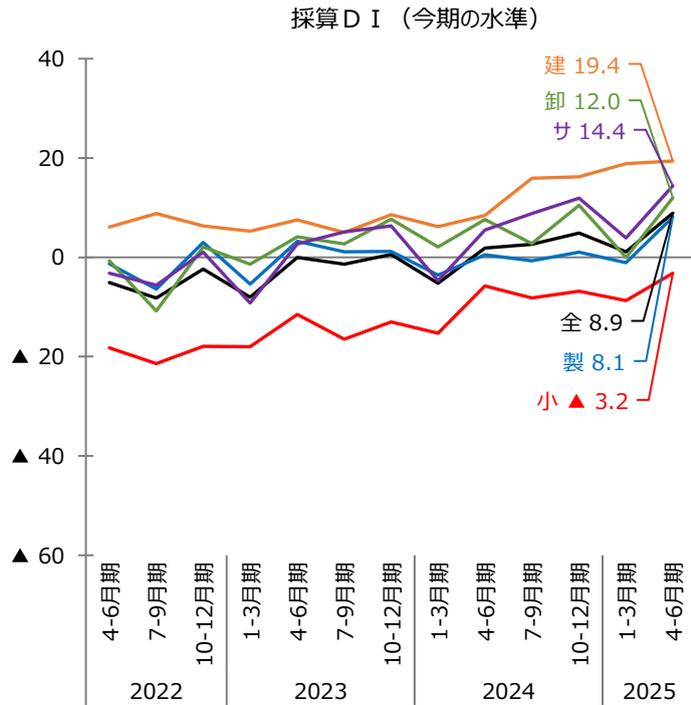


## 3. 採算

採算DIは、全産業で前期より7.8ポイント増の8.9と2期ぶりに上昇した。産業別にみると、5業種すべてで上昇した。

## 4. 従業員過不足

従業員過不足DIは、全産業で前期より1.1ポイント増の▲21.1と2期連続して上昇した。産業別にみると、製造業、建設業、小売業で上昇し、サービス業は横ばい、卸売業で低下した。



※今期の採算について「黒字」「収支トントン」「赤字」で質問

※今期の従業員について「過剰」「適正」「不足」で質問

## 5. 中部の中小企業の声

	業況判断の背景	業種
現状	昨年より米国への輸出を行っているが、継続販売へと繋がらなかった。競争する相手が大手企業が多く、価格面で折り合わないうえ、関税も大きな障壁となっている。	製造業 生菓子製造業
	昨年の能登半島地震による修繕・新築物件が、今期になって急激に増加している。またそれに加えて来期は補助金申請関係の物件数も多くなり、完成工期が重なっているため外部人材の確保難が予想される。	建設業 板金工事業
	商品原価のみでなく人件費や諸経費が年々上昇する中、これ以上の値上げは難しく、販売単価へ転嫁出来ずに採算が悪化している。更に米国関税による市況の先行き見通しが不透明となってきた。特に輸出への影響が危惧される。	卸売業 織物卸売業 (室内装飾織 雑品を除く)
	米不足が継続して、価格が高騰している現状。三カ月先の米の仕入時には、仕入難・仕入価格高騰が予想されるため、仕入資金の確保が必要。原料を確保して、一年間の安定供給できる体制づくりができるかがカギとなる。	小売業 米穀類小売業
	人件費、材料費の高騰化で景況は悪化。今後もコスト上昇は避けられず、小売、カフェの客層は限定的に。メーカー直販が主流となり、町の小売店は厳しい状況に。	サービス業 他に分類されない飲食店
見通し	世界情勢が不安定なため、輸出関連の案件がまったくストップしているようだ。できるだけ取引先を分散させているのでなんとか黒字になっているが、一社依存になってきているので改善をしなければならない。	製造業 機械工具製造業 (粉末や金業を除く)
	町の過疎化が進み、新築受注は減少し続けているが、水廻り等の改修工事の依頼は常にある。施主様のご希望をしっかりと聞き、ご満足していただける工事をしていきたい。	建設業 木造建築工事業
	小売店の世代交代に伴い、卸売業者を通さず、メーカーから直接仕入れを目指す動きが加速している。(消費者も直接ネット購入が進んでいるようで卸売業者として付加価値をいかにつけるか？が試されているように思う)	卸売業 その他の衣服卸売業
	原材料や包装資材の高騰により、収益は圧迫されているように感じる。付加価値の高い商品開発を推進していきたいと感じている。	小売業 菓子小売業 (製造小売)
	旅行会社を通さず自分で予約が取れるようになり、個人客からの需要が減少傾向にある。この影響を踏まえ、効率的な業務運営を整えるのが課題。またインバウンド体制は整っているが、まだ回復には時間がかかると感じる。	サービス業 旅行業者代理業

※中小企業景況調査の自由回答(フリーコメント)

項目を選択する方式ではなく、業況判断の背景についての感想や意見を自由に記入する方式であることから、各企業が抱える課題が表れている。